

財 産 目 録

令和2年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金						
現金	現金手許有高	-	運転資金として	-	-	657,418
普通預金	みずほ銀行藤沢支店他	-	運転資金として	-	-	264,709,353
			小計			265,366,771
事業未収金						
事業未収金		-		-	-	106,072,446
			小計			106,072,446
未収補助金						5,101,297
原材料						
グラウンドール事業原材料		-		-	-	300,305
一服館事業原材料		-		-	-	41,643
お弁当工房事業原材料		-		-	-	70,070
			小計			412,018
立替金						
立替金		-		-	-	8,223,746
			小計			8,223,746
前払金						
前払金		-		-	-	2,572,120
			小計			2,572,120
前払費用						
仮払金						
仮払金		-		-	-	3,478,627
			小計			590,895
			小計			590,895
			流動資産合計			391,817,920
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地(基本財産)	(児童養護施設 唐池学園)	-	児童養護施設敷地	0	0	127,463,400
	(乳児院 ドルカスベビーホーム)	-	乳児院敷地	0	0	34,402,000
	(保育所 吉岡保育園)	-	保育所園庭	0	0	3,151,200
	(障害者支援施設 貴志園)	-	障害者支援施設敷地、駐車場	0	0	171,026,625
			小計			336,043,225
建物(基本財産)	(法人本部)	S62	職員宿舍他	80,636,583	49,670,667	30,965,916
	(児童養護施設 唐池学園)	S43 他	児童養護施設	122,526,332	94,420,844	28,105,488
	(児童養護施設 強羅暁の星園)	S44 他	児童養護施設	198,385,565	153,239,422	45,146,143
	(乳児院 ドルカスベビーホーム)	H13 他	乳児院	194,067,907	77,950,820	116,117,087
	(保育所 吉岡保育園)	S50 他	保育所	154,434,600	51,236,995	103,197,605
	(保育所 つぼみ保育園)	H1 他	保育所	250,667,600	97,036,093	153,631,507
	(障害者支援施設 貴志園)	S49 他	障害者支援施設	528,047,800	157,226,657	370,821,143
	(マーレ貴志園)	R2	グループホーム	62,802,000	481,482	62,320,518
			小計			910,305,407
			基本財産合計			1,246,348,632
(2) その他の固定資産						
土地	(乳児院 ドルカスベビーホーム)	-	乳児院職員駐車場	0	0	9,435,000
	(障害者支援施設 貴志園)	-	障害者支援施設事業用地	0	0	12,797,200
建物	(児童養護施設 唐池学園)	S55、S56	シニア養護センター、学習棟	8,284,000	8,283,998	2
	(児童養護施設 強羅暁の星園)	S58 他	会議室、冷蔵倉庫、職員寮	185,008,660	97,881,376	87,127,284
	(保育所 吉岡保育園)	H15、H16	地域育児センター室、備品収納庫	8,964,500	8,544,308	420,192
	(保育所 つぼみ保育園)	S44	倉庫	1,264,400	1,264,399	1
	(障害者支援施設 貴志園)	S57 他	作業棟 他	54,138,690	31,754,360	22,384,330
	(地域移行支援事業 マーレ貴志園)	H28 他	建物付属設備(スプリンクラー)	10,062,840	3,175,225	6,887,615
	(放課後等デイサービス にじいろ)	H26、27	建物付属設備(パーテーション他)	7,425,528	3,405,658	4,019,870

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- ・同一の科目について控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、小計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
- ・「使用目的等」欄には、社会福祉法人第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を簡潔に記載する。
なお、負債については、「使用目的等」欄の記載を要しない。
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
- ・建物についてのみ「取得年度」欄を記載する。
- ・減価償却資産(有形固定資産に限る)については、「減価償却累計額」欄を記載する。なお、減価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。
また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。
- ・車輛運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車輛番号は任意記載とする。
- ・預金に関する口座番号は任意記載とする。

財 産 目 録

令和2年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
構築物	倉庫、乾燥室、他	-	社会福祉事業	37,782,103	16,097,272	21,684,831
機械及び装置	消防用設備、他	-	社会福祉事業	78,664,035	72,644,389	6,019,646
車輛運搬具	車輛：日産セレナ他32台、運搬具：11台	-	利用者送迎用 他	64,707,120	46,005,674	18,701,446
器具及び備品	パソコン、応接セット、他	-	社会福祉事業	144,684,243	119,311,005	25,373,238
有形リース資産	パソコン、周辺機器	-	社会福祉事業	4,032,600	134,420	3,898,180
権利	温泉(強羅)、井戸(吉岡)、水道(ドルカス)	-	社会福祉事業	0	0	1,701,200
ソフトウェア	会計、給与、栄養管理、保育支援	-	社会福祉事業	14,811,534	11,855,203	2,956,331
退職給付引当資産	全拠点(本部を除く)	-	退職給付積立	0	0	149,226,550
人件費積立資産	全拠点(本部、保育所を除く)	-	人件費積立	0	0	290,700,000
工賃変動積立資産	(障害者支援施設 貴志園)	-	工賃変動積立	0	0	1,000,000
自動車リサイクル預託金	唐池学園、貴志園、マーレ貴志園	-	自動車リサイクル預託	0	0	103,560
差入保証金	唐池学園、ドルカス、マーレ、にじいろ	-	ガス保証金 他	0	0	2,156,000
施設整備等積立資産	全拠点(本部、保育所を除く)	-	将来の施設整備費	0	0	406,654,254
保育所人件費積立資産	吉岡保育園、つぼみ保育園	-	人件費積立	0	0	28,000,000
保育所施設整備積立資産	吉岡保育園、つぼみ保育園	-	将来の施設整備費	0	0	36,300,000
その他の固定資産合計						1,137,546,730
固定資産合計						2,383,895,362
資産合計						2,775,713,282

II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金						
事業未払金	全拠点(本部を除く)	-	-	-	-	59,586,285
小計						59,586,285
1年以内返済予定設備資金借入金	全拠点(本部、強羅を除く)	-	-	-	-	23,402,000
1年以内返済予定リース債務	貴志園	-	-	-	-	806,520
未払費用		-	-	-	-	0
預り金	法人本部、つぼみ保育園	-	-	-	-	28,220
職員預り金	全拠点(本部、にじいろを除く)	-	-	-	-	2,473,361
仮受金		-	-	-	-	
仮受金	貴志園	-	-	-	-	23,421
小計						26,733,522
流動負債合計						86,319,807
2 固定負債						
設備資金借入金	唐池学園、ドルカス、つぼみ、貴志園	-	-	-	-	201,544,000
リース債務	貴志園、マーレ、にじいろ	-	-	-	-	3,091,660
退職給付引当金		-	-	-	-	
退職給付引当金	全拠点(本部を除く)	-	-	-	-	149,226,550
小計						152,318,210
固定負債合計						353,862,210
負債合計						440,182,017
差引純資産						2,335,531,265

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- ・同一の科目について控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、小計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
- ・「使用目的等」欄には、社会福祉法人第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を簡潔に記載する。
なお、負債については、「使用目的等」欄の記載を要しない。
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
- ・建物についてのみ「取得年度」欄を記載する。
- ・減価償却資産(有形固定資産に限る)については、「減価償却累計額」欄を記載する。なお、減価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。
また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。
- ・車輛運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車輛番号は任意記載とする。
- ・預金に関する口座番号は任意記載とする。